

報告者各位

企画委員会

平成17年度文化科学研究科学生合同セミナー 海外学術交流支援事業成果報告会について

文化科学研究科海外学術交流支援事業は、研究科の学生を対象として、海外における学会発表の経験をすること、また国際的な研究動向を知り様々な外国の研究者との交流を深めることを支援するために創設されました。このたび開催されます平成17年度文化科学研究科学生合同セミナーにおいて下記の要領で成果報告会が行われますので、よろしくお願い申し上げます。

記

期日 : 平成17年12月12・13日 「文化科学研究科学生合同セミナー」において。

報告順 : 別紙1を参照してください。

報告時間 : 報告20分 質疑応答10分

配布資料 : レジюмеは「合同セミナー」のパンフレットに綴じ込み当日参加者に配布しますので、12月8日までに葉山へお送りください。

資料書式 : 書式は自由ですが、図表等を含めてA4用紙3枚までに納めてください。

その他資料 : 当日会場にてプロジェクター等を使用することが可能です。PCを使用する場合は各自持参してください。その他写真などを報告に用いる場合は、お早めに所属専攻の企画委員まで問い合わせてください。

【報告内容について】

企画委員会では、対象者が支援事業により海外で体験した全てを「成果」として捉え、特にそのなかでも「交流」という点に重きを置いています。

故に報告会では、(1) 学会会場内外の様子・滞在記・研究者たちとの交流など自身が体験してきたこと (2) さらに支援区分2対象者は、自身の研究発表とそれに対する反応など (3) これらの体験がいかに関自身の「糧」になったか、という3点に留意して報告していただけるようお願い申し上げます。

以上